

校長室だより No 17

2018年11月15日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

「コマ電気前安全見守りの浅見さん ありがとうございました」

コマ電気前の交差点に週3日、火曜・水曜・金曜の朝6時半から交通安全見守りをしてくださっている浅見さんから、「体調が十分でなくなり、朝の見守りに立てなくなりました」とお電話をいただきました。暑い日も寒い日も雨の日も、「部活で登校をする最初の子が通るときには立っていてあげなければ」とおっしゃり、7～8年間にわたり交差点に立ってくださいました。本当に感謝を申し上げます。

今、コマ電気前の交差点を利用する子供たちにお礼のお手紙を書いてもらっており、学校としては、ささやかなお礼をお届けにいきたいと思います。

浅見さんは先月末から体調を崩され、今は交差点近くにお住まいの保護者の方が子供たちの安全確保のために立ってくださっていますが、様々なご事情を押して立ってくださっており、浅見さんを引き継いでくださるようお願いするわけにはいきません。

今後、コマ電機前交差点の安全確保について、全職員・保護者・地域と一緒に考えていきたいと思います。コマ電機前交差点を利用していないお子さんの保護者の方も一緒に考えていただき、学区全体の登校時の安全向上につないでいきたいと考えます。このピンチを子供の登校時の安全を見直すチャンスと捉え、熟議していきたいと思います。

コマ電機前交差点の課題は次のとおり

- ・歩車分離式信号に変わり、渋滞が激しくなり信号の変わり目（歩行者信号が青になって）も右左折直進をする車両が増え、横断を始めた児童と接触しそうな場面が多く発生している。しかし信号制御を元に戻すことは無いと警察からの回答を得ている。
- ・児童は、歩行者信号が青の間に、2か所の横断歩道を渡ろうとする。同時に自転車に乗ったまま直進方向に横断する大人が多く、横断歩道を2か所渡る児童と接触しそうなことが多く発生している。
- ・浅見さんと一緒に見守りをしてくださっている地域の高橋さんからも、健康上の理由から年度末で見守り活動を終了したいとの意向をうかがっている。

課題解決に向けた対策

- ・まず、学校としては光ヶ丘交番、柏警察に対して登校時間帯の警備体制を依頼します。
- ・次に、この信号を利用する児童への注意喚起と保護者の見守り（低学年の場合などは信号横断までは見届けていただく等）をお願いします。
- ・さらに、交差点に黄色いベストを着て旗を持った人が立っていることは、運転者に対する注意喚起に必ずつながっています。黄色のベストが目立つ学区と目立たない学区では大きな差があり、浅見さんの後をつなぐ人々を、自治会やPTAを通じてお願いをします。

すでに、一部の保護者の方々や地域の方の中には、浅見さんの後をつないでいくことについて考えを持たれ動いてくださっている方もいらっしゃいます。

先日の教育ミニ集会のテーマ同様に、様々な場面で子供を見ている大人が必要です。大人がいるかないかの違いが、子供の成長や学習面にも影響が出ています。

しかし、両親が共に仕事についている、社会の高齢化が加速している、行政の財政は逼迫しているという世の中で、未来を担う子供たちの教育環境をよりよくしていくためには、お互いのできることを出し合い、浅見さんが一人でがんばっていたことを、複数で分担して一人分を確保していくしか無いと考えています。文科省の働き方改革では、登下校の見守りは先生の仕事から外すとされていますが、学校としても何ができるかを先生に考えさせます。

浅見さんの後をつなぐ役割は、子供の命と安全を守る役割でもあり、「小さな力の結集が大きな役割を担う」をイメージに、課題解決に向けた「行動・考え・声」を募集します。

学校アドレス sakainee-e@kashiwa.ed.jp までお寄せください。お願いします。